

基本事務事業 5.「商業等の活性化を支援する」

○この基本事務事業の上位の目的(「後期基本計画」の位置づけ)
「地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにする」

・めざしたい将来像

今ある資源を活かした、新しい松戸らしい地域産業を生み出すため、産・学・官・民の連携、世代間を超えた連携を継続して行うことによって、若者にも魅力ある松戸のまちを実現します。

・めざそう値

	13年度	19年度	21年度	25年度	32年度
快適・便利・賑わいがあると 感じている人の割合	42.9%	37.7%	35.4%	40%	50%
商業の年間商品販売額	80,376,473 万円	76,488,304 万円 (H19.6)	76,668,908 万円 (H19)	77,668,000 万円	80,000,000 万円
製造品出荷額	46,795,923 万円 (H12.12)	42,773,374 万円 (H18.12)	47,370,740 万円 (H20)	43,000,000 万円	43,000,000 万円
農用地利用権設定面積	—	1.54ha	3.55ha	1.8ha	1.8ha
松戸の良さを伝えるために取 り組んでいる市民の割合	—	—	19.0%	25%	30%
主要観光スポットの観光客数	3,175 千人	2,627 千人 (H19.12)	2,617 千人	2,700 千人	2,800 千人

・現状と課題

●商工業の振興

本市は、23ある駅周辺に商店会が点在し、住民生活は大変便利な環境にあります。しかし、少子高齢化等による社会環境の変化により消費は減少し、本市小売業における年間販売額では平成16年は3,857億円、平成19年では3,841億円と、16億円の減少となっています。また、本市周辺を取り囲むように大規模商業施設の出店が相次ぎ、周辺都市との地域間競争は激しくなっており、商店会は、厳しい状況にあります。松戸駅周辺の中心市街地では、商業地域から住居併用型の商業地域に変化し地域全体での新たな転換を迫られています。また、本市の工業は3つの工業団地を中心に工業生産を維持しており、製造品出荷額は平成16年度においては4,269億円、平成19年度においては4,811億円で542億円の増加となるも、平成20年10月以降、世界的な経済危機の影響を受け製造品出荷額の減少が見込まれています。しかしながら、工業団地は、東京都心から20km圏、大消費地の東京都に隣接し、道路アクセスも良く、恵まれた立地環境であり工業団地としての条件が整っており、工場が撤退しても、物流拠点として活用され、空地が殆どありません。

基本事務事業紹介シート

○この基本事務事業の「目的」

商店会の現状を維持しながら、支援策を展開することで都市活動との融和を図り、地域に根ざした経済基盤を醸造し、多世代に親しまれ新たな発展を生みだすことを目指す。

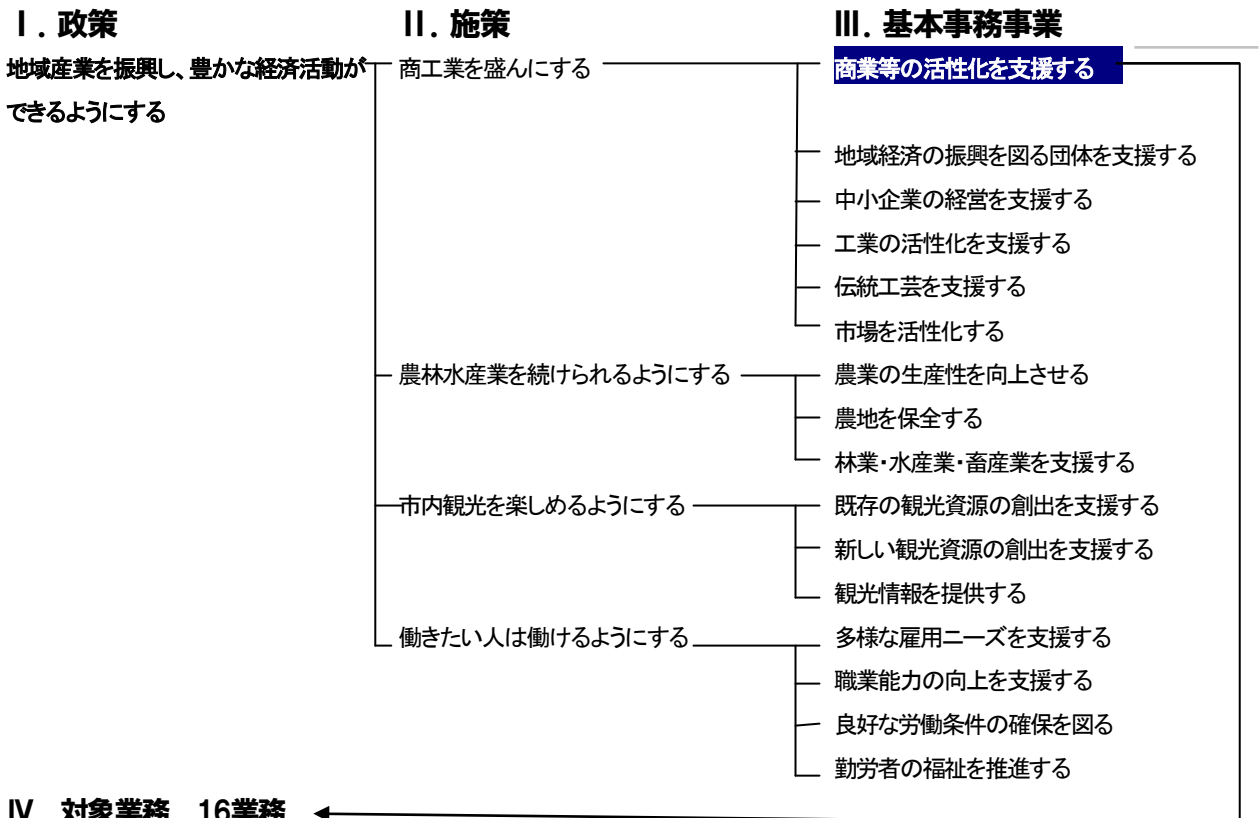
○この基本事務事業の「取り組み課題」

事業者と商店街の将来像を共有し、今後の活性化策の検討に対するアドバイスをおこない実現性を高める。商店会が行う販売促進活動等を支援することで、地域との関わりを深める。商店会間の連携を深めることで、商業振興組合等の法人化を推進し商店街経営基盤の強化を図る。空き店舗等を利用したモデル事業等を推進することで、新たな魅力の創造により消費者の関心を高め顧客の流出を防止する。商店街を次世代も商売をしたくなるような場とするよう、若い世代が集うような商店街づくりに向けたアドバイスを行う。

○この基本事務事業の「めざす成果」

商店街が地域に根差した交流拠点ひいては、多世代が楽しめる次世代を担う経済拠点 となり、活気と賑わいのあるまちづくりを形成する。

○この基本事務事業の「政策目的体系」の位置づけ



IV. 対象業務 16業務

●法人商店会支援事業

1. 法人商店会支援業務

●商店街共同施設支援事業

2. 商店街整備支援業務
3. 商店街設置費補助金
4. 商店街修繕費補助金
5. 商店街維持管理費補助金

●商店街共同事業支援事業

6. 空き店舗対策支援業務
7. 商業進行関係行事開催事業補助金

●商店街情報化支援事業

8. 商店街ホームページ作成支援業務
9. 商店街ポイントカード導入促進業務

●商店街活性化指導事業

10. 商店会講習会開催等業務
11. 中心市街地活性化業務

●商業等基本調査事業

13. 商圈調査委託業務
14. 商業構造基本調査業務

●松戸駅周辺地域活性化事業

15. 松戸駅周辺地域活性化業務

●商工総務事務費

16. 商工総務事務費

5.「商業等の活性化を支援する」基本事務事業概要シート①

外部環境の変化	内部要因	H23予算額
<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市への大型商業施設の進出 ・世界的経済状況の悪化 ・東日本大震災による影響 	【強み】 <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道・バスの交通網が充実してる。 ・都心へのアクセスも良く、日常生活に不自由がない。 【弱み】 <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市の大型商業施設に消費者が流出してしまう。 ・地域住民と商店街等の関りが希薄であり、都市形成と経済発展の関連性が低い。 ・経営者の高齢化・後継者不足が深刻である。 	302542 (千円)

no.	業務名(所管)	本基本事務事業における本業務の意義・目的	業務内容	事業費(千円)		人員配置		(人)(H23)	担当部課評価			
1	法人商店会支援事業 (商工観光課)	事業者が自主的に商店街の活性化近代化を図るよう、商店街振興組合等の組織化を推進する。	商店街が自主的に活性化を図るよう、商店街振興組合等の組織化を推進する。	H21決算額	500	H24計画額		一般職	0.32	人件費	3,038	平成元年度より「松戸市商店会法人化推進事業補助金交付要綱」に基づき、商店会の組織基盤を強化につながる法人化を推進している。 【補助金基準】 ・法人商店会の設立 設立認可時の出資総額の30/100(限度額100万円) ・法人商店会の運営 50/100(限度額50万円) 法人設立年度～5年間 【実績】平成4年度～17年度まで 4商店会が法人化されたが、現在は3法人商店会となっている。平成18年以降は設立なし。
				H22決算額	0	H25計画額		再任用				
				H23予算額	0	H26計画額		嘱託・臨時		事業費計	3,038	
2	整備支援業務 (商工観光課)	松戸駅前の商店会が維持管理しているアーケードについて撤去費を補助することにより、商業環境の整備に努める。	商店会のアーケードの撤去費用を補助する。	H21決算額		H24計画額		一般職		人件費		平成15年度に「松戸市商店街アーケード撤去事業補助金交付要綱」に基づき、松戸駅西口周辺整備事業に伴い松戸駅西口に設置されていたアーケードを撤去する事業に対し補助を行ったもので、事業は完結している。
				H22決算額		H25計画額		再任用				
				H23予算額		H26計画額		嘱託・臨時		事業費計	0	
3	設置費補助金 (商工観光課)	商店会等が街路灯などを設置した時に、その費用の一部を補助金として交付し団体活動を支援することで、商工業の振興を図る。	商店街等の共同施設の設置費用を補助する。	H21決算額	185	H24計画額	1,100	一般職	0.1	人件費	950	昭和52年より「松戸市商工業共同施設の設置等に係る補助金及び利子補給金交付規則」に基づき、商店会等が設置する街路灯、アーチ、アーケード等の設置費について補助を行い、商業環境の向上や地域の安全確保に対し支援している。 【補助基準】 ・1基当たりの補助額は認定工事費の1/2以内 ・認定工事費は街路灯20万円、アーチ60万円、アーケードはその都度定める 【平成23年4月1日現在設置件数】 ・街路灯 73商店会等 2,447基 ・アーチ 27商店会 114基 ・アーケード 2商店会 86灯
				H22決算額	0	H25計画額	1,100	再任用				
				H23予算額	1,000	H26計画額	1,100	嘱託・臨時		事業費計	1,950	
4	修繕費補助金 (商工観光課)	商店会等が維持管理している街路灯、アーチ等の修繕費の一部を補助することにより、施設を延命させ良好な商工業環境の維持を図る。	商店街等の共同施設の修繕費用を補助する。	H21決算額	1,482	H24計画額	1,219	一般職	0.2	人件費	1,899	平成16年度より「松戸市商工業共同施設の設置等に係る補助金及び利子補給金交付規則」に基づき、商店会等が設置し、維持管理している街路灯、アーチ、アーケード等の共同施設の修繕費について補助を行い、商店街等の環境維持に対し支援している。 【補助基準】 ・設置後5年以上経過し、修繕することでその後5年以上使用可能となること ・1基当たりの補助額は認定工事費の1/2以内 ・認定工事費は街路灯10万円、アーチ30万円、アーケードはその都度定める 【平成23年4月1日現在修繕件数】 ・34商店会等 街路灯977基、アーチ40基
				H22決算額	361	H25計画額	2,219	再任用				
				H23予算額	6,746	H26計画額	2,219	嘱託・臨時		事業費計	8,645	
5	維持管理費補助金 (商工観光課)	商店会等が管理する街路灯の電気料を補助することで費用負担の軽減を図り、その団体の健全運営を推進し、商工業の振興を図る。	商店街等の街路灯の電気料を補助する。	H21決算額	10,071	H24計画額	11,040	一般職	0.32	人件費	3,038	昭和52年度より「松戸市商工業共同施設の設置等に係る補助金及び利子補給金交付規則」に基づき、商店会等が設置し、維持管理している街路灯及びアーケードの電気料に対し補助を行い、商店街等の環境維持に対し支援している。平成22年度からは補助金の額をアップし、商店街等の負担軽減を図っている。 【補助金額】 ・街路灯 1基当たり上限 5,000円 (H22年度に4,000円から増額) ・アーケード 1灯当たり上限 2,500円 (H22年度に2,000円から増額) 【平成22年度実績】 ・街路灯 73商店会等 2,447基 ・アーケード 2商店会等 86灯
				H22決算額	12,288	H25計画額	11,040	再任用				
				H23予算額	12,560	H26計画額	10,040	嘱託・臨時		事業費計	15,598	
6	空き店舗対策支援業務 (商工観光課)	商店街の空き店舗対策事業を支援することにより、商店の衰退等で空洞化しつつある商店街の振興を図る。	商店街の振興を図るため、商店会が実施する空き店舗対策事業に対し、借上げする空き店舗家賃及び改装費の一部を補助するとともに、市内商店街振興に役立つ持続可能な事業をモデル事業として実施する。	H21決算額	0	H24計画額	6,000	一般職	0.1	人件費	950	平成12年度より「松戸市商店街空き店舗対策事業補助金交付要綱」に基づき、空洞化等が深刻な商店街の振興、発展を図るため、商店会が行う空き店舗対策事業を支援している。 【実績】平成13年度～18年度にかけ、4商店会が「テナントミックス事業」、「創業者支援事業」、「らーめん寺子屋事業」を実施し完了している。平成22年度から「社会ニーズ対応モデル事業」として1商店会に対し補助を行っている。
				H22決算額	3,472	H25計画額	6,000	再任用				
				H23予算額	6,000	H26計画額	6,000	嘱託・臨時		事業費計	6,950	

5.「商業等の活性化を支援する」基本事務事業概要シート①

no.	業務名(所管)	本基本事務事業における本業務の意義・目的	業務内容	事業費(千円)		人員配置			(人)(H23)	担当部課評価			
				H21決算額	H24計画額	H21決算額	H24計画額	H21決算額			H24計画額		
7	商業振興関係行事開催事業補助金(商工観光課)	商店会が実施する販売促進活動等の活性化推進事業に対し、その費用の一部を補助することで経済振興を図る。	商店会が共同で実施する事業に対して、費用の一部を補助する。	H21決算額	83,337	H24計画額	8,600	一般職	0.76	人件費	7,216	昭和50年度より「松戸市商業振興共同事業補助金交付規則」に基づき、商店会が実施する歳末大売出しなどの販売促進事業等に対し、事業費の50%以内で、任意商店会等10万円、法人商店会30万円を限度に補助を行っている。平成21年度からは年1回の補助を年2回までとしている。 【平成22年度実績】 54商店会(延べ87商店会) 補助金額10,267,050円	
				H22決算額	10,267	H25計画額	8,700	再任用					
				H23予算額	58,500	H26計画額	8,800	嘱託・臨時		事業費計	65,716		
8	ホームページ作成支援業務(商工観光課)	商工会議所による商店会マップ、各商店会ホームページとのリンク、イベント紹介作成経費の一部を補助することで、商業振興を図る。	商工会議所による各商店会HPとのリンクに必要な経費の一部を補助し商業振興を図る。	H21決算額		H24計画額		一般職		人件費		昭和57年度より「松戸市中小企業等団体事業運営費補助金交付要綱」に基づき、商工会議所による商店会マップ、各商店会等ホームページとのリンク、イベント紹介作成に要する経費の一部について補助を行っているが、平成20年度以降は事業が行われていない。 【補助基準】 対象経費の1/2以内 【実績】 平成14年度～19年度まで 17商店会	
				H22決算額		H25計画額		再任用					
				H23予算額		H26計画額		嘱託・臨時		事業費計	0		
9	ポイントカード導入促進業務(商工観光課)	商店会が商店街活性化事業の一環として行う、ポイントカードシステム導入事業に対して、機器購入経費等の一部を補助することで、商業振興を図る。	商店会が行うポイントカードシステム導入経費の一部を補助し、商業振興を図る。	H21決算額		H24計画額		一般職		人件費		平成8年度より「松戸市商店街等情報システム導入事業補助金交付要綱」に基づき、商店会が商店街活性化事業の一環として行うポイントカードシステム等の情報機器設置事業に対して補助を行っている。 【実績】 平成8年度～20年度 4商店会	
				H22決算額		H25計画額		再任用					
				H23予算額		H26計画額		嘱託・臨時		事業費計	0		
10	商店会講習会開催等業務(商工観光課)	商店会の問題解決や法人化に向けて積極的な商店会及び個人事業者の経営上の問題解決に向けたヒントとなる講習会の実施及び視察を行うことで、商店街の活性化を図る。	活気ある商店街を形成することを目的とした講習会を開催する。	H21決算額	422	H24計画額	1,202	一般職	0.2	人件費	1,899	活気ある商店街を目指すための講習会や先進的な事業を行っている商店会を視察した。 ・講習会(平成22年度) テーマ スイッチ・オン!「売れちゃってこまる会社創りへの道」 講師 中村 文昭氏 参加者 281名 ・主な視察先 戸越銀座商店会、向島橋銀座商店街、烏山駅前通り商店会振興組合等	
				H22決算額	409	H25計画額	1,202	再任用					
				H23予算額	1,202	H26計画額	1,202	嘱託・臨時		事業費計	3,101		
11	中心市街地活性化業務(商工観光課)	松戸駅のイメージアップを図ると同時に、周辺商店街の魅力を高めるため来街者の増加を図り、松戸駅周辺地域の活性化を図る。	松戸駅周辺のにぎわい創出を目指し平成18年に設立された「松戸駅周辺にぎやか推進協議会」を支援していく。	H21決算額	2,360	H24計画額	2,590	一般職	0.75	人件費	7,121	松戸市の顔であり、玄関口である松戸駅を中心とした周辺地域や商店街の魅力を高め、賑わいの創出やイメージアップによる来街者の増加を図り、商業活性化を促進するため、松戸駅西口デッキでのイベントや、「一店逸品」事業を実施している。 【平成22年度実績】 ・西口デッキ事業 年間40回 ・一店逸品事業 21店舗参加	
				H22決算額	2,450	H25計画額	2,590	再任用					
				H23予算額	2,590	H26計画額	74,590	嘱託・臨時		事業費計	9,711		
12	商店街活性化支援業務(商工観光課)	子育て世代を支援する「子育てみらいカード」を活用した商店街の利用を促すことにより、商業振興を図る。	国の交付金を活用した子育て支援による商店街活性化の取り組みとして、「子育てみらいカード」の協賛店の増加を目指す。	H21決算額	0	H24計画額	450	一般職	0.53	人件費	5,032	子育て世代を支援する「子育てみらいカード」の発行を契機に、子育て応援店としてのPRIによる店のイメージアップや来店者増加を図るため、協賛募集用リーフレット、協賛店ポスター・ステッカー等を作成し、協賛店の増加に努めている。 協賛店のメリットとしては、市配布のポスターやステッカーの店頭表示による子育て世帯を応援する店であることのPR、市ホームページ等への協賛店の名称やサービス内容の紹介によるPR、協賛店の広告やホームページ等にシンボルマークの使用ができるなど、「子育てにやさしいお店」として、お店のイメージアップに繋がる。 カード保有者は、住基カードとしてコンビニで住民票などの交付を受けられるほか、協賛店が独自に定める割引や粗品進呈などの様々なサービスが受けられる。 【平成23年10月末日現在の実績】 ・協賛店 273店 ・カード交付枚数 1,221枚	
				H22決算額	870	H25計画額	450	再任用					
				H23予算額	450	H26計画額	450	嘱託・臨時		事業費計	5,482		
13	商圈調査委託業務(商工観光課)	国の商業統計調査に基づき、松戸市の商圈構造の現状を把握する。	松戸市の商圈構造を明らかにするとともに、消費者アンケート調査を実施することで、商業振興の基礎資料とする。	H21決算額		H24計画額		一般職		人件費		平成24年度に国が実施する商業統計調査結果に基づき、松戸市の商圈構造を明らかにして、本市商業の問題・課題の抽出を行うとともに、消費者アンケート調査を行い、今後の商業施策を検討する上の基礎資料とするもので、平成25年度に実施を予定している。	
				H22決算額		H25計画額	5,000	再任用					
				H23予算額		H26計画額		嘱託・臨時		事業費計	0		
14	商業構造基本調査業務(商工観光課)	国の商業統計調査結果に基づき、商業の健全育成、適正な商業施設(業種配分)といった商業振興に必要な基礎資料を整える。	商業統計調査のデータを分析し、商業振興に必要な基礎資料を整備する。	H21決算額		H24計画額		一般職		人件費		平成24年度に国が実施する商業統計調査結果を分析し、商業の健全育成、適正な商業施設の配置等、商業振興に必要な基礎資料とするもので、平成25年度に実施を予定している。	
				H22決算額		H25計画額	5,000	再任用					
				H23予算額		H26計画額		嘱託・臨時		事業費計	0		
15	松戸駅周辺地域活性化事業(総務企画本部企画管理室)	松戸駅の改造を契機に、松戸の街に交流人口が集うようにプランニングを行い、活性化を推進させる。	松戸駅周辺を中心とした一定エリアを特定した中で、中長期を展望し、新たな松戸の将来像と総合的な街づくりの具体案を含め、独自のランドデザインの策定を計画している。	H21決算額		H24計画額	90,472	一般職	5	人件費	47,475	平成22年10月1日にプロジェクトを設置後、地元(町会・自治会、商店会など)と意見交換を実施している。 平成24年度から、ロードマップにより具体的な成果を上げる。	
				H22決算額		H25計画額	348,792	再任用	0				
				H23予算額	0	H26計画額	299,048	嘱託・臨時	1	事業費計	47,475		
16	商工総務事務費(商工観光課)	事業を円滑に行うための事務費	商工振興関係の事務費	H21決算額	434	H24計画額	359	一般職	1.2	人件費	11,394	商工振興に関する事務のほか、庶務業務を行っている。 【予算内訳】 消耗品費(参考図書・事務用消耗品等) 314,000円 食糧費(商工団体打合せ用) 1,000円 使用料及び賃借料(融資幹旋システム用機器賃借料) 32,000円 備品購入費(図書購入費) 13,000円	
				H22決算額	401	H25計画額	359	再任用					
				H23予算額	368	H26計画額	359	嘱託・臨時		事業費計	11,762		

5.「商業等の活性化を支援する」基本事務事業概要シート②

外部環境の変化(地域環境、市民ニーズ等)	内部要因の変化(基本事務事業の目的を達成するために事業提供側に求められる要件)	中期的重要課題	中期的予算額の増減予測
1 周辺近隣市への大型商業施設出店。 2 インターネットの普及による電子商取引等、販売形態の多様化。 3 デフレーション、長引く不況による個人消費の冷え込み。 4 少子高齢化が進んでいる。	1 空き店舗が多くなっている。 2 商店会への未加入など会としての維持が難しくなっている。 3 商店会等の役員の高齢化、事業者の後継者不足。 4 平成22年に商業振興の基本理念を定めた「商業振興条例」を制定している。	1 法人化を始めとした組織の体力強化を図る。 2 地域特性に応じた商店会活性化を模索して行く。 3 個店としての魅力アップを図る。	増加予定

【基本事務事業の指標】

指標	基準値(H21)	H23	H24	H25
商店会等が実施する販売促進活動件数	50件	56件	57件	58件

no.	業務名(所管)	業務の目的	指標(単位)	基準値(H21)	H23	H24	H25	今後の変化に対して想定される業務の課題	今後の業務の課題に関する対処・取り組み策
1	法人商店会支援事業(商工観光課)	国、県の補助金を活用できる法人化を図り、地域間競争に勝ち抜く自立した組織化を促す。	法人設立件数					商店会員の維持が難しく結束力が低下している。	法人化する為の各種アドバイスを行っていく。
2	整備支援業務(商工観光課)	今後、事案が発生した時はその都度、対応する。	事案発生により設定						
3	設置費補助金(商工観光課)	良好な商工業環境を維持する為、商店会等の基盤の維持・強化の観点から、その費用の一部を補助していく。	街路灯・アーチ等設置団体数	1	1	2	2	商店会等にとって設置費の負担が大変重いものとなってくる。商店会等による計画的な積立金などの資金確保の推進、補助金額の見直し等の検討が必要であると考える。	補助割合の見直し検討と併せ、街路灯の適正配置の検討を行う。
4	修繕費補助金(商工観光課)	良好な商工業環境を維持する為、商店会等の基盤の維持・強化の観点から、その費用の一部を補助する。	街路灯・アーチ等修繕団体数	5	6	5	6	経年劣化による塗装等の修繕を行う際、あわせて電気料の軽減が図られるLED化へ切り替えることが望まれているが、街路灯の形状は様々で、切り替えに要する費用にかなりの高廉の差が生じる。	撤去に係る経費の補助も含めた補助金の見直しについての検討と併せ、街路灯の適正配置の検討を行う。
5	維持管理費補助金(商工観光課)	良好な商工業環境を維持する為、商店会等の基盤の維持・強化の観点から、その費用の一部を補助する。	電気料補助金額	10,504,000	12,560,000	11,040,000	11,040,000	LED化されていない街路灯を保有している商店会等では、依然負担が大きいものとなっている。	街路灯の適正な配置や事例等を提示し、LED化の推進を図る。
6	空き店舗対策支援業務(商工観光課)	商店街の空き店舗対策事業を支援することで、商店会の活性化を図る。	空き店舗対策事業実施件数	0	1	2	2	商店街における空き店舗問題は深刻なものであり、より抜本的かつ、継続的な対策が必要とされる。	商店街に必要なとされる業種や機能を商店会と共に検討する。
7	商業振興関係行事開催事業補助金(商工観光課)	市内の商店会が実施する販売促進活動に対し、の活性化推進事業に対し、引き続きその費用の一部を補助し活性化を図る。	販売促進活動等実施件数	50	56	57	58	商店会による販売促進活動の実施は増加傾向にあるが、その活動が出来ない商店会への対応が必要となる。	商店街が地域コミュニティの拠点として、地域と密接に関わり、賑わいを創出し、活性化するための販売促進活動を推進する。
8	ホームページ作成支援業務(商工観光課)	商工会議所による商店会マップ、各商店会ホームページとのリンク、イベント紹介作成経費の一部を補助することで、商業振興を図る。	ホームページを作成している商店会の割合					ホームページは有効な顧客誘引手段として認識はあるが、商店会により温度差があり、意識の薄さ、人手不足も否めない状況にある。	ホームページ作成に関する新たなニーズ等に応じて、必要な支援策を検討して行く。
9	ポイントカード導入促進業務(商工観光課)	商店会が商店街活性化事業の一環として行う、ポイントカードシステム導入事業に対して、機器購入経費等の一部を補助することで、商業振興を図る。	ポイントカードシステム導入商店会数					ポイントカードシステムの導入には、多大な経費が掛かり、それを維持する組織強化を図る必要がある。	先進商店街の成功事例等を経済団体や商店街等と検討し法人化に向けて積極的な商店街へは必要な支援を行う。
10	商店会講習会開催等業務(商工観光課)	商店会の問題解決や法人化に向けて積極的な商店会及び個人事業者の経営上の問題解決に向けたヒントとなる講習会や視察を行う。	講習会実施回数	1	1	2	2	商店会の抱える課題は多様化しており、個別的な対応が求められているが、講習会及び視察に対する制度の活用がされていない。	個々に対応する決め細やかな講習会等について、商店会に周知する。
11	中心市街地活性化業務(商工観光課)	イベント事業や周辺商店街の魅力を高めるための事業により、駅周辺地域でのを展開し、松戸駅を中心とする周辺地域の賑わいとイメージアップを図る。	実施決算額	2,590,000	2,590,000	2,590,000	2,590,000	デッキイベントにより、駅前の賑わいは創出されているが、街へ回遊する仕組みが求められている。	松戸駅周辺地域・商店街の賑わい、イメージアップのために必要な個店レベルでの魅力創出を図る方を事業者等と一緒に検討する。
12	商店街活性化支援業務(商工観光課)	協賛登録店を増やす。	協賛事業者登録件数	238	240	245	255	協賛店の提供するサービスが事業者の自主性に委ねられている為に限界がある。	「子育てみらいカード」の発行枚数の増加と、協賛店登録するメリットを検討して行く。
13	商圈調査委託業務(商工観光課)	国の商業統計調査結果に基づき、松戸市の商圈構造を現状を把握する。	実施決算額	0	0	0	5,000,000	外部環境の変化に応じたニーズ等を把握する必要がある。	中小企業支援・商店街活性化プロジェクトで事業者と一緒に設問事項について検討して行く。
14	商業構造基本調査業務(商工観光課)	国の商業統計調査に基づき、商業の健全育成、適正な商業施設(業種配分)といった商業振興に必要な基礎資料を整える。	実施決算額	0	0	0	5,000,000	外部環境の変化に応じたニーズ等を把握する必要がある。	中小企業支援・商店街活性化プロジェクトで事業者と一緒に設問事項について検討して行く。
15	松戸駅周辺地域活性化事業(総務企画本部企画管理室)	松戸駅改道を契機とした松戸駅周辺の活性化を促進する。	松戸駅周辺の活性化の方向性を定める	0	0	0	100	松戸駅周辺の街の印象が「汚い」、「怖い」、「寂しい」などマイナス面が多いため、地元もイベントなどを行いイメージアップに努めているが、抜本的な商業の活性化策や、将来を見据えた街づくりが行われていない。	街づくりの主役である地元(町会・自治会、商店会など)が享受できる活性化ビジョンや、重要性・緊急性などから具体的な施策を明らかにするとともに、今後の取り組みに対する指針づくりを行い、活性化対策を進める。
16	商工総務事務費(商工観光課)	事業を円滑に進める。	実施決算額	437,000	359,000	359,000	359,000	商工観光課内の庶務業務のみならず、経済担当部内の庶務業務及び庶務業務及び庶務担当課としての業務を実施する。	適正な人員配置や事務量の分配を図って行く。

政策16

地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにする

1. 商工業を盛んにする

1. 現状と課題

本市は、市内全域に商業施設が整備されており、住民の生活にとって非常に便利な環境であります。しかし、少子高齢化などによる消費の減少により、年間販売額は減少傾向にあります。また、工業においては、工業団地の立地条件が企業にとって魅力があるため、遊休地になることはまれです。しかし、入れ替わり時には、製造業から流通業へのシフトが徐々に進んでいます。

【特筆すべきニーズの変化】

- ① 小売店での買い物より、便利で品数が多く価格も安い大型店での買い物を好む消費者が増えています（ニーズの増）
- ② 三工業団地の維持、雇用や税収確保のための工業活性化が望まれています（ニーズの増）

●市内の工業における製造品出荷額

(金額単位:万円)

産業中分類	事業所数		製造品出荷額等	
	総数	総額	総数	総額
松戸市	443	48,105,726		
9 食料品	31	5,601,180		
10 飲料・たばこ	5	11,064,842		
11 繊維	2	X		
12 衣服	16	146,834		
13 木材・木製品	1	X		
14 家具・装備品	14	221,979		
15 パルプ・紙	24	3,409,856		
16 印刷	31	1,317,859		
17 化学	10	4,028,125		
18 石油・石炭	-	-		
19 プラスチック	39	3,416,217		
20 ゴム	10	262,079		
21 なめし革	16	239,347		
22 窯業・土石	12	610,597		
23 鉄鋼	5	461,298		
24 非鉄	2	X		
25 金属製品	90	6,569,759		
26 一般機械	59	1,979,905		
27 電気機械	12	228,915		
28 情報通信機械	2	X		
29 電子・デバイス	12	4,446,658		
30 輸送用機械	9	131,633		
31 精密機械	15	317,119		
32 その他	26	928,403		

出典：工業統計調査（経済産業省）

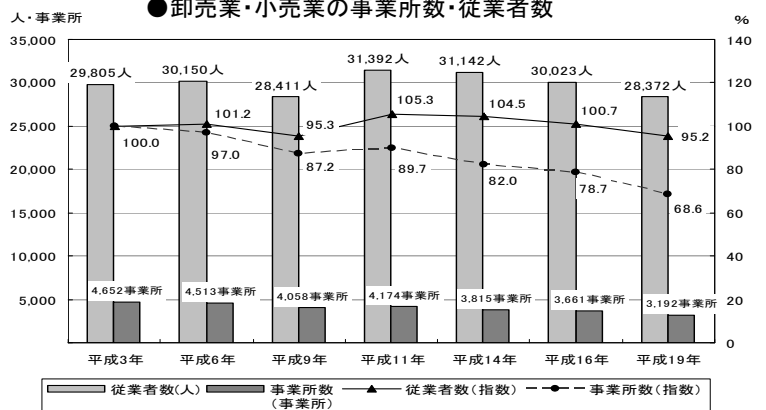
平成19年12月31日現在

●市内商店街数、事業所数、従業者数、売場面積、年間販売額の推移

	商店街合計			年平均増減率(%)	年平均増減率(%)
	H14	H16	H19		
商店街数 (街)	98	96	93	△ 1.0 %	△ 1.1 %
事業所数 (事業所)	1,711	1,574	1,153	△ 4.1 %	△ 9.9 %
従業者数 (人)	9,057	8,559	6,373	△ 2.8 %	△ 9.4 %
売場面積 (㎡)	119,148	119,771	91,323	0.3 %	△ 8.6 %
年間販売額 (万円)	10,853,268	9,824,439	7,175,288	△ 4.9 %	△ 9.9 %

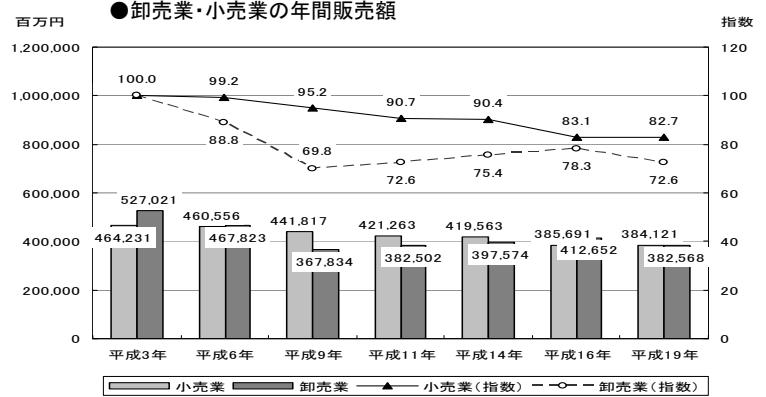
出典 「松戸市商業・商圈調査報告書」

●卸売業・小売業の事業所数・従業者数



【注】指数は平成3年の数値(従業者数29,805人、事業所数4,652事業所)を100として換算した数値です。

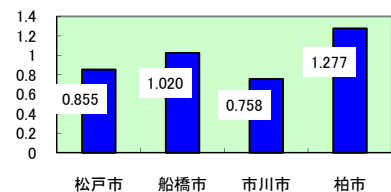
●卸売業・小売業の年間販売額



【注】指数は平成3年の数値(小売業464,231百万円、卸売業527,021百万円)を100として換算した数値です。

出典 上の2資料は、いずれも「松戸市商業・商圈調査報告書」

●平成19年小売吸引力



小売吸引力の算出方法
(小売吸引力) = 市町村ごとの1人当たり年間販売額 / 都道府県の1人当たり年間販売額
* 1.00を超えると他市町村からの買い物客が多く(流入超過)、下回ると流出超過を示す

出典 「松戸市商業・商圈調査報告書」

2. 取り組み状況

本市では、中小事業所への支援として、意欲的な商店街を対象に様々な取り組みをおこなっています。主な内容は、商店街活性化指導として、講習会の開催や専門家の派遣、販売促進活動への助成（イベント開催等）、商業環境整備への助成（街路灯、アーチ）などです。さらに、市役所内に経営相談窓口を設け、創業を目指す方や経営革新を必要とする事業主への助言を行っています。

卸売市場は、規制緩和等による流通構造の大きな変化に伴い全国的に取扱量が減少しています。市場を取り巻く厳しい状況から脱却し活性化を図るため、公設市場の「民営化」を検討しています。

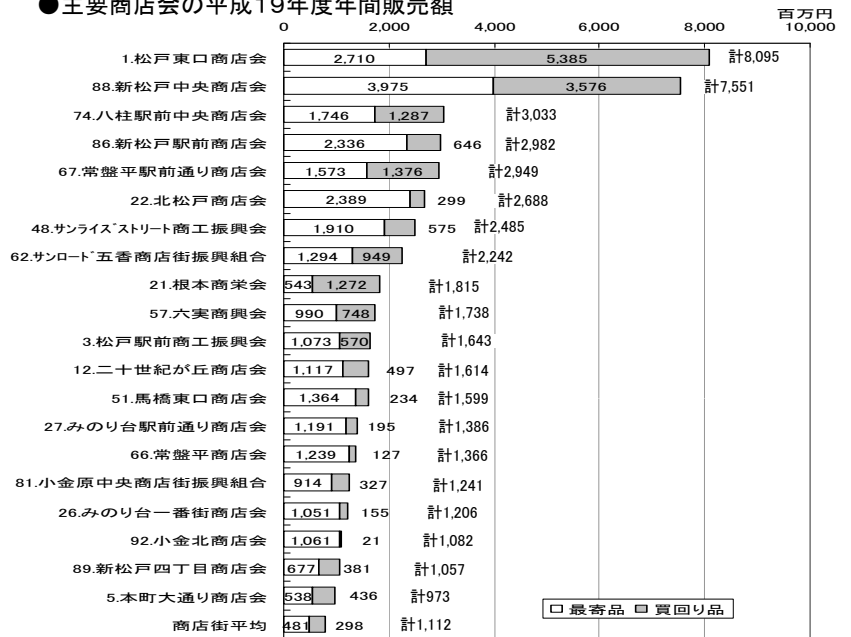
【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 経済エリアとなりうる地域のコミュニティとしての商店会が各地に多く点在しています（強み）
- ② 工業団地の利用が製造業から流通業にシフトし、工業団地としての機能が薄れてきています（弱み）

●商店街の分布図

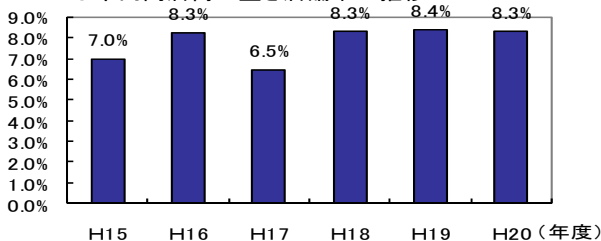


●主要商店会の平成19年度年間販売額

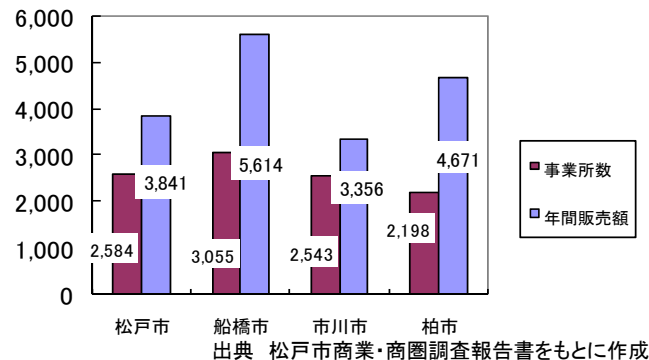


出典 松戸市商業・商圏調査報告書

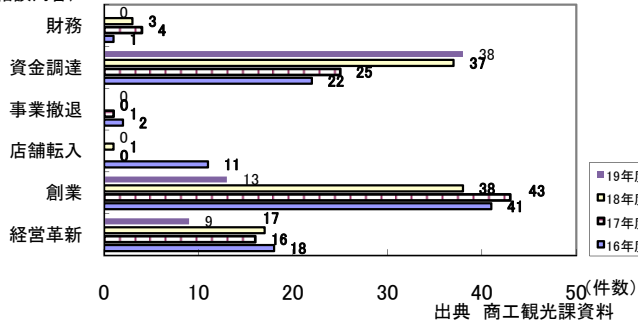
●市内商店街の空き店舗率の推移



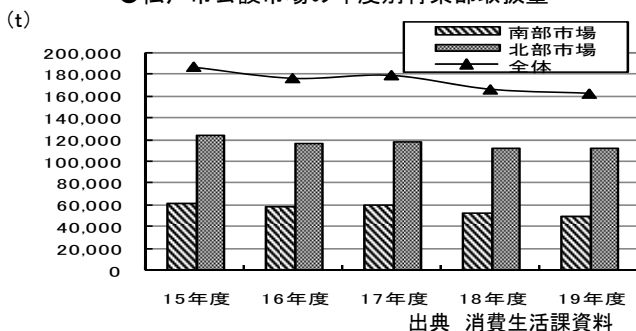
●平成19年小売業の事業所数、年間販売額、商店街数の他市比較 (億円)



(相談内容) ●松戸市経営相談の内容と件数の推移



●松戸市公設市場の年度別青果部取扱量



●松戸市公設南部市場の年度別水産物部取扱量

